

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公表番号】特表2003-525880(P2003-525880A)

【公表日】平成15年9月2日(2003.9.2)

【出願番号】特願2001-559832(P2001-559832)

【国際特許分類】

C 07 C	59/42	(2006.01)
A 61 K	31/202	(2006.01)
A 61 K	31/616	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	9/14	(2006.01)
A 61 P	11/00	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	17/04	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	17/08	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	37/08	(2006.01)

【F I】

C 07 C	59/42
A 61 K	31/202
A 61 K	31/616
A 61 P	9/10
A 61 P	9/14
A 61 P	11/00
A 61 P	11/06
A 61 P	17/04
A 61 P	17/06
A 61 P	17/08
A 61 P	19/02
A 61 P	27/02
A 61 P	29/00
A 61 P	37/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

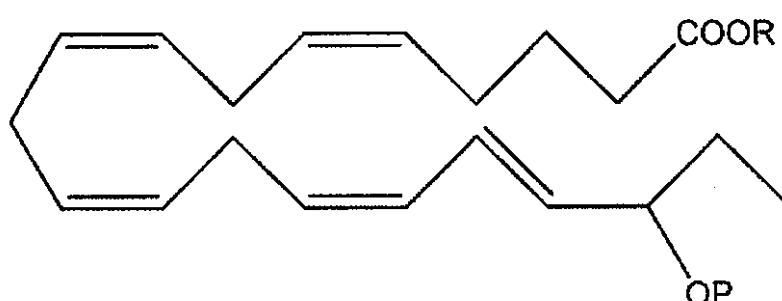
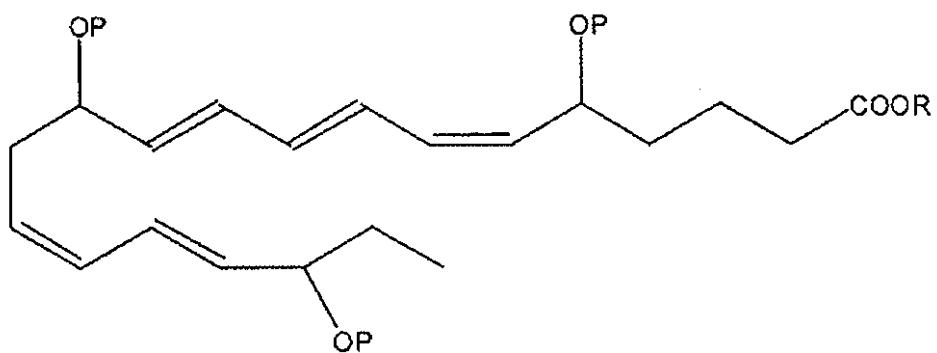
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

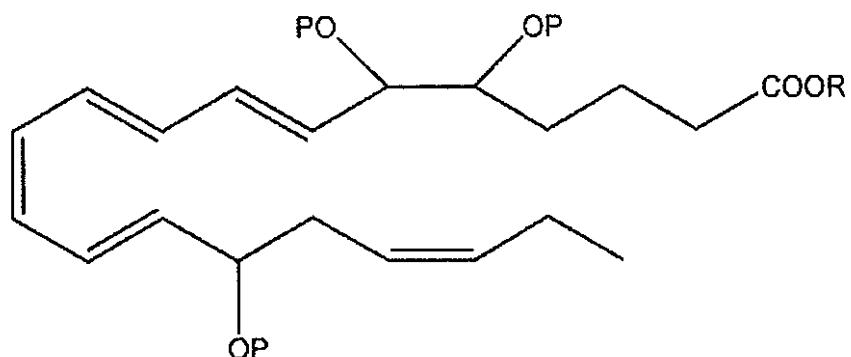
【請求項1】

以下の式の構造：

【化1】



、または



式中Rは水素原子であり、そして式中それぞれのPは独立して水素原子もしくは保護基である

を有する化合物または薬剤的に受容できるその塩またはエステル。

【請求項2】

それぞれのPがHである、請求項1に記載の化合物。

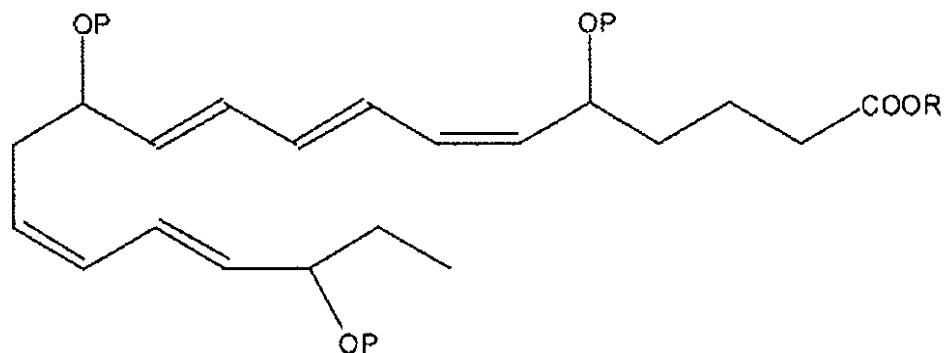
【請求項3】

RがHである、請求項1または2に記載の化合物。

【請求項4】

化合物が、以下の式の構造

【化2】



式中C-5炭素がS立体配置を有し、C-12炭素がR立体配置を有し、そしてC-18炭素がR立体配置を有する、

を有する、請求項1～3のいずれか1項に記載の化合物。

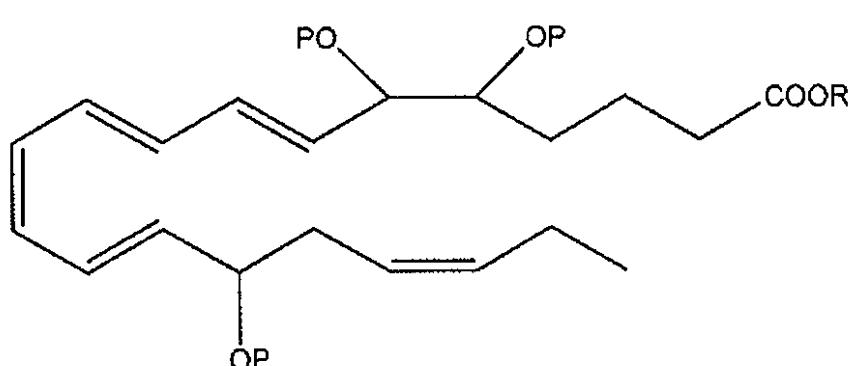
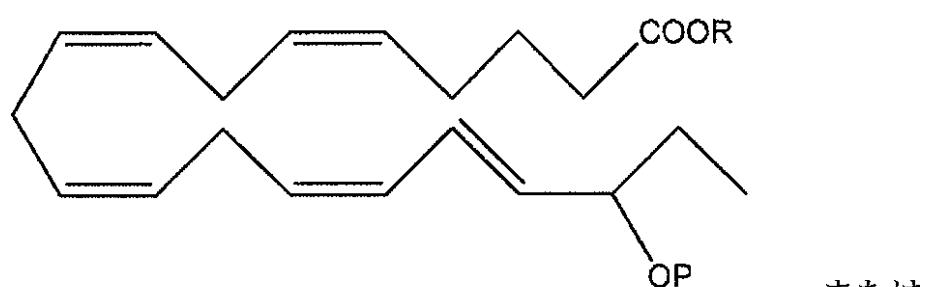
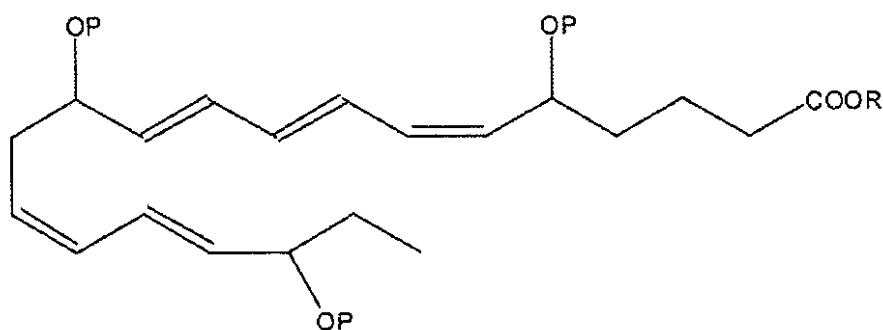
【請求項5】

化合物が精製された化合物である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項6】

以下の式の構造：

【化3】



式中Rは水素原子であり、そして式中それぞれのPは独立して水素原子もしくは保護基である

を含む化合物または薬剤的に受容できるその塩またはエステルを含む、被検体における炎

## 症を治療するための医薬組成物。

### 【請求項 7】

それぞれのPがHである、請求項6に記載の医薬組成物。

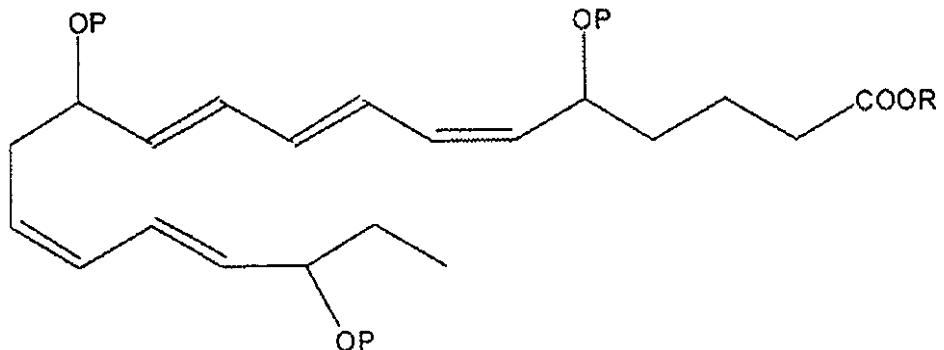
## 【請求項8】

RがHである、請求項6または7に記載の医薬組成物。

## 【請求項9】

化合物が、以下の式の構造

【化 4】



式中C-5炭素がS立体配置を有し、C-12炭素がR立体配置を有し、そしてC-18炭素がR立体配置を有する、

を有する、請求項6～8のいずれか1項に記載の医薬組成物。

### 【請求項 10】

炎症が、

クローン (Crohn) 病 ; 潰瘍性大腸炎 ; 遠位直腸炎 ; リウマチ性脊椎炎 ; リウマチ性関節炎、骨関節炎、および痛風関節炎を含む関節炎 ; 乾癬 ; 湿疹様皮膚炎、アトピー性および脂漏性皮膚炎、アレルギー性または刺激性接触皮膚炎、湿疹クラクリー (craquelee) 、光アレルギー性皮膚炎、光毒性皮膚炎、植物性光皮膚炎、放射線皮膚炎、およびうっ血性皮膚炎を含む皮膚炎 ; 動脈性炎症 ; 心筋梗塞傷害 (coronary infarct damage) ; 再狭窄 ; 虹彩炎を含むぶどう膜炎 ; 結膜炎 ; 成人呼吸窮迫症候群 ; 気管支炎 ; または囊胞性線維症 ; であるか ; または

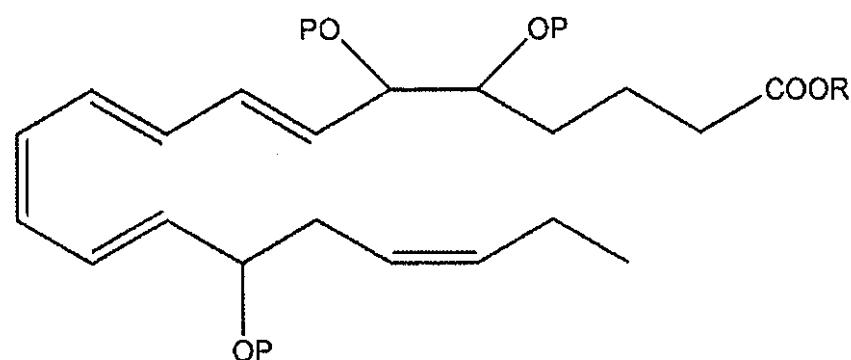
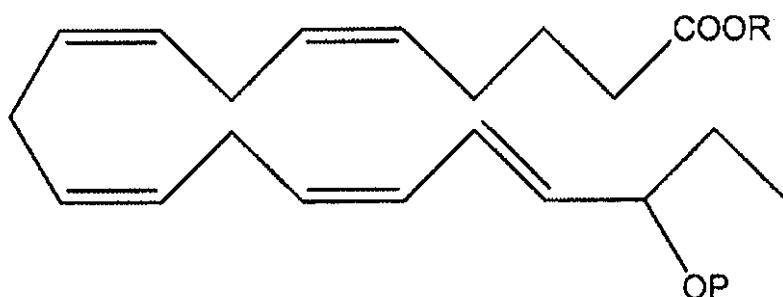
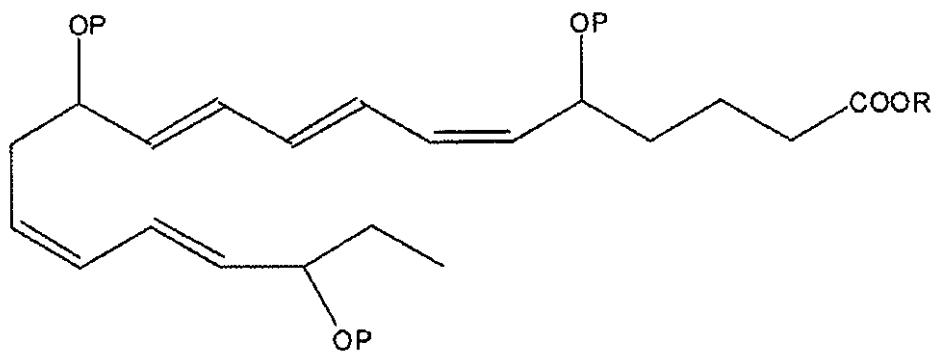
突発性気管支喘息を含む喘息や、冠状動脈けいれん、心筋梗塞、虚血誘発心筋障害、脳血管けいれんまたは発作、炎症性腸疾患、直腸けいれん、または粘液性結腸炎を含む動脈平滑筋収縮を含むけいれん状態に関連する炎症；喘息、湿疹のような全体的または部分的アレルギー起源を有するアレルギー性皮膚疾患、小児脂肪便症 (coeliac disease) を含むアレルギー性腸疾患、花粉症を含むアレルギー性眼状態、アレルギー性鼻炎、またはアレルギー性結膜炎を含むアレルギー状態に関連する炎症；または全体的または部分的血栓性起源を有する発作、冠血栓症、静脈炎および静脈血栓症を含む血小板凝集に関連する状態に関連する炎症；

である、請求項6～9のいずれか1項に記載の医薬組成物。

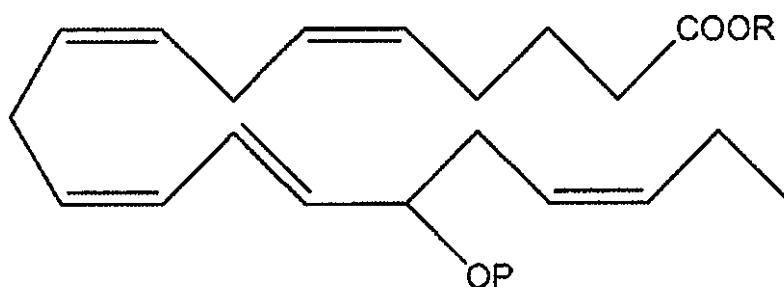
## 【請求項 11】

以下の式の構造：

【化 5】



、または



式中Rは水素原子であり、そして式中それぞれのPは独立して水素原子もしくは保護基である

を有する化合物または薬剤的に受容できるその塩またはエステルを含む、被検体における心血管疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項12】

それぞれのPがHである、請求項11に記載の医薬組成物。

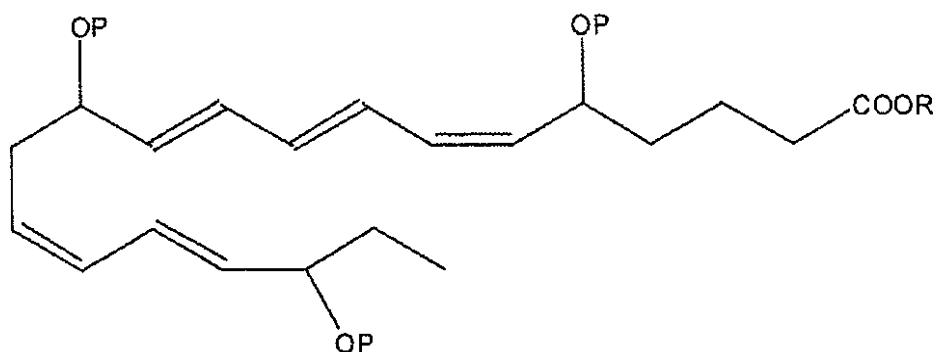
【請求項13】

RがHである、請求項11または12に記載の医薬組成物。

【請求項14】

化合物が以下の式の構造：

【化6】



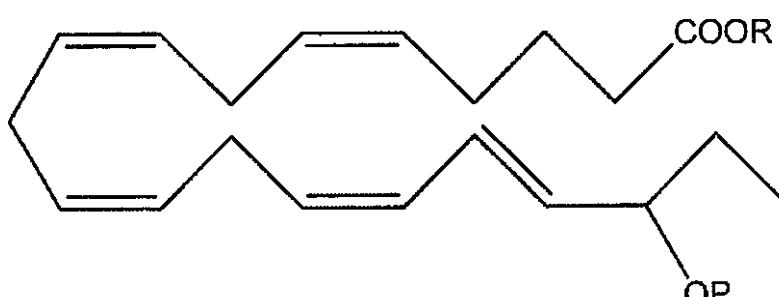
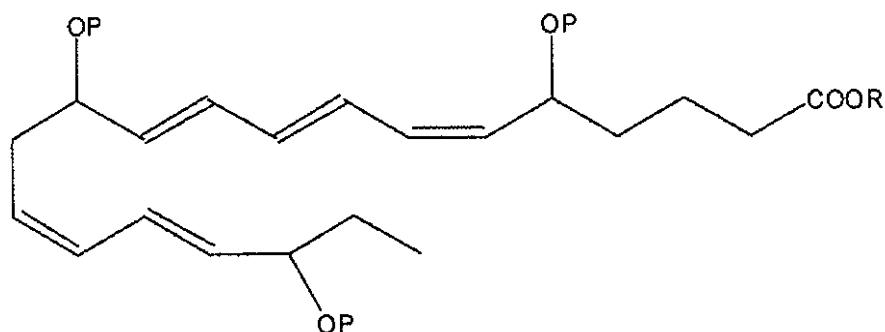
式中C-5炭素がS立体配置を有し、C-12炭素がR立体配置を有し、そしてC-18炭素がR立体配置を有する、

を有する、請求項11～13のいずれか1項に記載の医薬組成物。

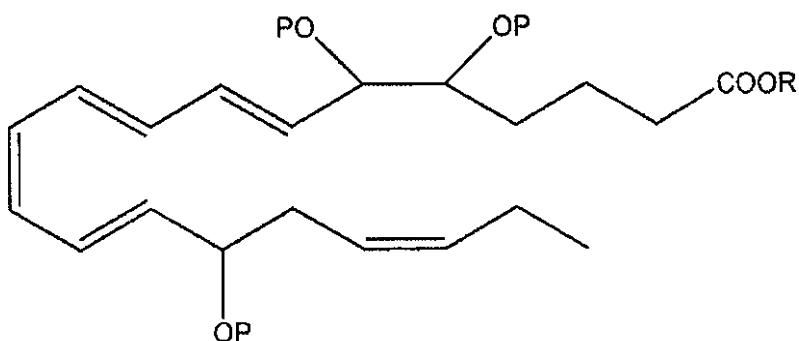
【請求項15】

以下の式の構造：

【化7】



、または



式中Rは水素原子であり、そして式中それぞれのPは独立して水素原子もしくは保護基である

を有する化合物または薬剤的に受容できるその塩またはエステルを含む、COX-2酵素が関連する臨床状態の予防および治療するための、医薬組成物。